

森と川の精霊とともに

ロシア・アムール地方のアート&クラフト



Arts and Crafts in Amur River Cultures

2015.7.18-10.25



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples



水彩画/ウデヘ I.I.ドゥンカイ

主催 北海道立北方民族博物館

(指定管理者 一般財団法人北方文化振興協会)

協力 風間伸次郎氏、佐々木史郎氏、津曲敏郎氏、野口栄一郎氏
青柳文吉氏、小野寺マリレイ氏、A.P.ドンカーン氏

特別展観覧料

一般450 (300) 円 65歳以上300円 高校・大学生200 (160) 円

常設展+特別展

一般800 (740) 円 65歳以上300円 高校・大学生320円

※小中学生、学校行事の高校生は無料です。

()内は10名以上の団体料金

北海道立北方民族博物館 〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1

(天都山・道立オホーツク公園内)

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

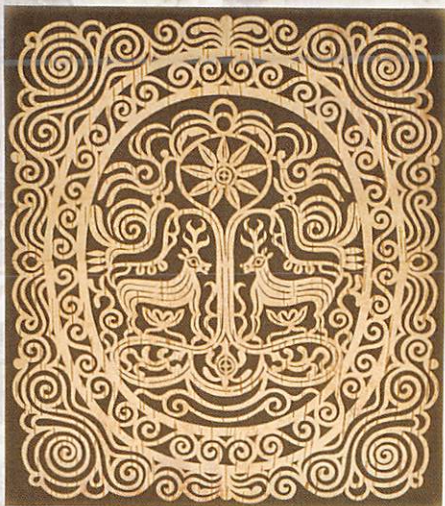
表紙刺繍(クッションカバー部分)/ナーナイ Y.D.サマール

ロシア

アムール川
ニブフ
ウリチ
ウイルタ
オロチシホ
アイヌ
ウデヘ
脈
中国



ナーナイの白樺樹皮製船：カンドン村



白樺樹皮切り絵「ナーナイ氏族の物語」
L.U. パサル

アムール川は、ロシアと中国の国境をなし、オホーツク海にそそぐ、長さ約 4400km、流域面積約 18,500km² にもなる大河です。その水系は複雑に流れる支流や湖沼をもち、豊かな流量と栄養分は、さまざまな動植物を育んでもきました。

この地域ではナーナイ、ウデヘ、ウリチ等のツングース諸民族とニブフが生活のための道具を作りながら暮らしてきました。こうした道具類は、手近な動植物や鉱物を材料にして、機能にそった洗練された形やデザインをもっています。

さらに、森や川には精霊が住むとし、シャマニズムを信奉する心は、木偶やまじない具など独特な儀礼具をうみだしました。

近隣との交流や、中国から日本への交易ルート上にあったことから、文化要素には異文化の影響をみることもできます。

ロシア人は17世紀以降、この地に来るようになりました。

近年では、生活の道具というよりも、アートの部分がより強調された作品も作られています。



クマ/ウデヘ U.スリャンジガ



© A.P.Donkan and Onodera Malire

シャマン衣装/ナーナイ
A.P.ドンカーン、小野寺マリレイ



シャマンの仮面/ウリチ N.N. ウー



帯/ウリチ 下 プラスチーナ



楽器ケース/ウリチ



二段バスケット/ナーナイ ホジェル



皮製手袋/ナーナイ VG,ホジェル